

## 令和元年度事業実績報告

法人運営は、理事会を6回、評議員会を4回開催しました。経営基盤の強化を目標に掲げ推進してきましたが、財政的な改善は図れず当年度の決算では赤字となりました。赤字部分は財政調整積立金の取り崩しと繰越金を充当することで補いました。

要因を分析すれば、事業活動収入全体の80%を占める介護保険事業（在宅介護）の収入が減少していることが大きく影響しています。施設入所志向の変化による在宅サービス利用者の減少、人件費の上昇、また委託事業の収支悪化も要因に挙げられます。

相談業務については、くらし・しごとサポートセンターや生活福祉資金貸付、障害者相談支援の業務を実施する中、いずれも社協内の業務や役場の実施するサービスとの連携、介護サービス事業者との連携が必要で、複雑困難なケースが多くなっています。

ボランティアセンター関係では講座を1回、見守りネットワークは回数14,229回、生活支援有償サービスは90回の活動を行いました。また、児童・生徒のふれあいボランティア活動では小学生17名に認定証を交付しました。

社会福祉法人の公益的取り組みについては、法外援護資金の貸し付け5件、おもいやりネットワーク事業の食料現物給付等3件、福祉用具無償貸付20件、ペットボトルのキャップ回収等（163Kg、ポリオワクチン40.75人分）の活動を行いました。

終わりに、社協は補助金や委託金、寄付金、事業収益等で地域を支える事業を推進しています。多様化する住民のニーズに答え、住民目線でサービスを開発・提供することが社協に与えられた使命として今後も進めていきたいと思えます。

### 運 営 ・ 管 理

理事会の開催：6回 評議員会の開催：4回 監事会の開催：1回

### 介 護 保 険 事 業

居宅介護支援事業 訪問介護事業 訪問入浴介護事業 福祉用具貸与事業  
小規模多機能型居宅介護事業 認知症対応型共同生活介護・通所介護事業

### 地域見守りネットワーク支援事業

- ① 見守り活動等育成・・・見守りを基盤とした生活課題の把握 地区連絡会の開催（10集落15回）  
在宅福祉アドバイザー研修会を実施（R1年9月1日 自然休養村管理センター 受講者106名）
- ② ネットワーク事業（生活支援）・・・民生委員・在宅福祉アドバイザーを核とした見守り声かけのネットワークの充実拡大  
一次支援〔安否確認〕のべ9,031回 二次支援〔話し相手・ゴミ出し・買物支援等〕のべ5,234回  
三次支援〔専門業者への連絡〕のべ34回 協力員：171名 対象者：282名
- ③ 保健福祉ネットワーク推進協議会の開催  
（R2年2月27日 老人福祉センター 関係機関代表12名）
- ④ 生活支援有償サービス事業の実施 登録利用者6名  
清掃38回 墓参り支援5回 内服支援29回 インスリン注射見守り18回 合計90回



## 権利擁護関係事業

福祉サービス利用支援・・・日常的な金銭管理や書類等の預かりサービスの実施。

(利用者：40名 のべ利用回数：713回)

## 地域福祉関係事業

- ① ボランティア登録・・・ボランティアを登録することで、受け手と担い手の調整を行い、ボランティア活動の活性化を図ることを目的に実施。  
(登録団体6団体476名 個人14名)
- ② 赤十字奉仕団研修会及びボランティア講座・・・R1年10月26日(土) 自然休養村管理センター 参加者98名
- ③ ボランティア保険加入・・・活動保険286名 行事用保険15名 ふれあいサロン3, 198名
- ④ 児童・生徒のふれあいボランティア活動・・・認定証交付 小学生17名
- ⑤ ふれあいいいききサロン事業・・・高齢者等に対し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ることを目的に実施。  
(年間実施回数252回 のべ利用者数1,871名 実施集落26集落)
- ⑥ 生活福祉資金貸付事業・・・低所得世帯や身体障害者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助を行うことにより世帯の更正が図られるよう援助した。  
(過年度貸付6件 今年度貸付1件 のべ相談12件)

## 障害福祉サービス

- ① 障害者相談支援事業・・・障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行った。(のべ利用者数110名)
- ② 障害者居宅介護事業・・・居宅において身体介護及び家事援助を行った。(のべ利用者69名)

## その他事業

- ① 生活困窮者自立支援事業・・・生活困窮者が抱える多様で複合的な問題の相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行い、自立の促進を図った。  
(相談件数29件 支援調整会議5回 プラン作成7件)
- ② 福祉有償運送事業・・・自力での移動が困難であり、単独でタクシー等の交通機関を利用することが困難な身体障害者、要介護者、要支援者、その他障害を有する者等の運送を行った。(利用者数11名 回数273回)
- ③ 福祉センター管理業務・・・のべ利用者数2,097名
- ④ 広報活動・・・社協だよりの発行：3,700部 年4回  
行政無線(災害義援金募集)2回

## 共同募金・歳末助け合い募金運動

- ① 一般募金目標額 1,231,000円 一般募金実績額 1,163,115円
- ② 歳末助け合い募金目標額 400,000円 歳末助け合い募金実績額 385,629円

## 日本赤十字業務の推進

- ① 地域における赤十字社員増強運動の実施  
[社費募集内容] 赤十字社鹿兒島支部目標額 1,069,500円 実績 1,201,600円
- ② 災害救護活動(救援物資・災害死亡弔慰金支給) 火災1世帯2名

## 社会福祉法人の公益的取組

- ① 法外援護貸付資金・・・低所得世帯に対し、緊急不測の出費等に要する資金の貸付を行った。  
(貸付件数：5件)
- ② おもいやりネットワーク事業・・・福祉的課題や生活課題を抱える世帯を対象に現物給付での支援を行った。  
(支援件数：3件 支援内容：食料支援、光熱費支援)
- ③ 福祉用具の無償貸与・・・介護認定申請時や退院時の短期利用者に無償で貸付を行った。  
(のべ件数：20件 主な福祉用具：ポータブルトイレ・車椅子など)
- ④ ペットボトルキャップの回収・・・ペットボトルキャップの回収・郵送し、ワクチン支援を行った。  
(回収量：163Kg ポリオワクチン：40.75人分)



# 令和元年度決算報告

社会福祉法人喜界町社会福祉協議会

## 法人単位資金収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	会費収入	860,000	795,000	65,000
		寄付金収入	1,300,000	1,372,661	-72,661
		経常経費補助金収入	4,099,158	4,079,023	20,135
		受託金収入	13,904,759	13,518,759	386,000
		貸付事業収入	300,000	170,000	130,000
		事業収入	10,056,000	9,708,765	347,235
		介護保険事業収入	142,134,000	128,561,088	13,572,912
		障害福祉サービス等事業収入	3,853,000	2,928,170	924,830
		受取利息収入	70,000	2,440	67,560
		その他の収入(雑収入)	888,000	159,509	728,491
		<b>事業活動収入計(1)</b>	<b>177,464,917</b>	<b>161,295,415</b>	<b>16,169,502</b>
	支出	人件費支出	141,044,650	137,536,999	3,507,651
		事業費支出	18,495,357	15,668,281	2,827,076
		事務費支出	16,905,892	14,112,478	2,793,414
		共同募金配分金事業費	1,029,158	1,029,158	0
		貸付事業費支出	300,000	170,000	130,000
		助成金支出	120,000	120,000	0
		負担金支出	230,000	152,000	78,000
		支払利息支出	85,000	20,062	64,938
その他の支出	30,000	0	30,000		
<b>事業活動支出計(2)</b>	<b>178,240,057</b>	<b>168,808,978</b>	<b>9,431,079</b>		
<b>事業活動収支差額(3) = (1) - (2)</b>		<b>-775,140</b>	<b>-7,513,563</b>	<b>6,738,423</b>	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	600,000	600,000	0
		<b>施設整備等収入(4)</b>	<b>600,000</b>	<b>600,000</b>	<b>0</b>
	支出	設備資金借入金償還金支出	1,070,000	1,070,000	0
		固定資産取得支出	1,934,040	1,284,040	650,000
		<b>施設整備等支出(5)</b>	<b>3,004,040</b>	<b>2,354,040</b>	<b>650,000</b>
<b>施設整備等収支差額(6) = (4) - (5)</b>		<b>-2,404,040</b>	<b>-1,754,040</b>	<b>-650,000</b>	
よその収支活動額に	収入	積立資産取崩収入	4,000,000	4,000,000	0
		<b>その他の活動収入計(7)</b>	<b>4,000,000</b>	<b>4,000,000</b>	<b>0</b>
	支出	その他の活動による支出	4,017,000	4,385,400	-368,400
		<b>その他の活動支出計(8)</b>	<b>4,017,000</b>	<b>4,385,400</b>	<b>-368,400</b>
<b>その他の活動収支差額(9) = (7) - (8)</b>		<b>-17,000</b>	<b>-385,400</b>	<b>368,400</b>	
予備費支出(10)		0	0	0	
<b>当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)</b>		<b>-3,196,180</b>	<b>-9,653,003</b>	<b>6,456,823</b>	

前期末支払資金残高(12)	0	28,981,653	-28,981,653
当期末支払資金残高(11) + (12)	-3,196,180	19,328,650	-22,524,830

# 成年後見制度中核機関の開設



## 目的及び機能

中核機関は喜界町からの委託事業で、地域の権利擁護支援や成年後見制度利用促進の機能強化及び協議会の事務局・進行管理機能が主な機能とされています。

認知症高齢者や精神・知的障害者といった方は、判断能力が不十分であり、万が一の際に「不利な判断」をしてしまう場合があります。こうした事態を防ぐために「成年後見制度」があります。本会では成年後見制度に関するご相談を随時承っております。（要電話連絡）



## 具体的な業務

- 成年後見制度の普及・啓発
- 成年後見制度利用に関する相談受付
- 成年後見制度利用に関する手続き支援
- 成年後見業務に係る関係機関への情報提供
- 協議会の開催等、関係機関との連携に関する業務

お問い合わせ先

TEL：65-0449

担当：界田・盛澤

# お気軽にご相談ください

## エコキャップ活動



本会ではペットボトルキャップを回収し、イオン九州株式会社へ郵送するエコキャップ活動を継続して行っています。集められたペットボトルキャップは、リサイクル&世界の子どもたちへのワクチン支援として活用されています。

昨年郵送したペットボトルキャップ

**総重量163kg ワクチン40.75名分**



エコキャップ活動を実施する上でのお願い

- ① キャップは持ち込む前にキレイにしてください。  
(汚れがある際には簡単でもいいので水洗いをお願いします。)  
※汚れているものは受け取りできない場合があります。
- ② 回収できないキャップがあります。確認をお願いします。
  - ・ 値札や、キャンペーンシールが貼ってあるもの（はがしてください）
  - ・ ①で記載したように汚れているもの
  - ・ マジック等で何かしら書き込みしてあるもの
  - ・ 飲料用の以外のボトルキャップ（しょうゆなど）
- ③ 持ち込みの際はプルタブと分けてください。



上記を確認頂き、今後も皆様のご協力をよろしくお願いします✿



この広報誌の発行には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。